授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開ⅡA　(DB421)			担当教員	足立　孝子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択

授業のねらい	アクティブ・ラーニングの類型
この授業の目的は、精神保健福祉士の理念と意義、支援の展開過程、他職種連携について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。	①⑤⑥⑩

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	精神保健福祉士の専門性と倫理について、説明することができる。	定期試験	45%
情報収集、分析力	事例について、情報を収集・分析し、支援の方法について、正確に説明することができる。	レポート	15%
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。	ディスカッション内容	10%
協働・課題解決力	ストレングスに基づく個別支援計画をたてることができる。	個別支援計画	15%
多様性理解力	事例について、情報を収集・分析し、ケアマネジメントに基づくプランを正確に説明することができる。	レポート	15%
出　　席		受験要件	
合　　計		100%	

評価基準及び評価手段・方法の補足説明

定期試験は45%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、正確に説明することができるかを評価する。レポート30%では、事例を分析し、支援の方法について説明することができているかを評価する。レポート課題は、第9回の授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、個別支援計画の作成15%、ディスカッション内容10%で評価する。すべての提出物は、次回の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。

授業の概要

精神保健福祉士の理念と意義、支援の展開過程、他職種連携などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。ストレングスモデルに基づく個別支援計画では、受講生同士がペアとなり、精神保健福祉士とクライエントの役割を交互に行い、作成する。受講生は、精神保健福祉援助実習において、個別支援計画を立てることとなっており、自分が支援計画を立ててもらう立場になることを通じて、ケアマネジメントのあり方について検討していく。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院でカウンセリングや医療相談、ソーシャルワークなどで精神科ソーシャルワークの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。また、厚生労働省が定める「精神保健福祉士養成施設等の設置及び運営に係る指針」において、実務経験を有する教員に関して「精神保健福祉士の資格を取得した後、相談援助の業務に5年以上従事した経験を有する者」と規定されており、担当教員は該当する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。

教科書・参考書

教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(第2版)」中央法規出版

参考書：適時、授業内で指示をする。

指定図書：チャールズ・A・ラップ（2014)『ストレングスモデル』田中英樹監訳、金剛出版

授業外における学修及び学生に期待すること

授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。
出席は最低限のルールとする。
授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。

回	テ　ー　マ	授　業　の　内　容	予習・復習
1	オリエンテーション 相談援助の展開①	授業の概要、進め方、評価等を確認 相談援助活動の内容と方法について説明する	予習：テキスト 2-8 を読んでくる。復習：授業の内容をまとめる。
2	相談援助の展開②	個別支援の実際について説明する	予習：テキスト 9-37 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
3	相談援助の展開③	疾病および障害に配慮した集団支援の展開について説明する	予習：テキスト 38-45 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
4	相談援助の展開④	集団を活用した支援の実際について説明する①	予習：テキスト 46-59 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
5	相談援助の展開⑤	集団を活用した支援の実際について説明する②	予習：テキスト 60-71 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
6	相談援助の展開⑥	事例による相談援助活動の検討 （危機介入、住居支援、就労支援）	予習：テキスト 72-90 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
7	家族調整・支援の実際①	精神保健福祉における精神障害者と家族の関係について説明する	予習：テキスト 92-100 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
8	家族調整・支援の実際②	家族支援の方法について説明する	予習：テキスト 101-108 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
9	家族調整・支援の実際③	事例による家族調整・支援を検討する レポート課題の提示	予習：テキスト 109-116 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
10	地域移行の対象および支援体制①	地域移行支援の対象について説明する	予習：テキスト 118-121 を読んでくる 復習：授業の内容をまとめる。
11	地域移行の対象および支援体制②	地域移行の体制について説明する	予習：テキスト 122-128、配布資料を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
12	地域移行の対象および支援体制③	精神保健福祉の役割と多職種連携について説明する	予習：テキスト 129-141 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
13	地域移行の対象および支援体制④	精神科入院患者の地域移行・地域定着支援の取組みについて説明する	予習：テキスト 142-153 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
14	地域移行の対象および支援体制⑤	地域移行にかかわる機関と組織について説明する レポートの提出期限	予習：テキスト 154-162 を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
15	まとめ	後期の振り返り	予習：テキストの後期分を読んでくる。 復習：授業の内容をまとめる。
16	定期試験		